

2024年度 メリー★ポピンズ kids北朝霞ルーム 事業計画書

Ⅰ.基本方針

基本理念…「にんげん力。育てます。」

保育目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

法人の理念・目標に基づき保護者、地域、保育園が相互にかかわりながら、地域に根差した保育園を目指す。

「子どもの最善の利益とは何か」を常に問いながら子どもと関わること。

大人も子どもも、多様な人たちの「よさ」を発見できる人。

明るく朗らかな園の雰囲気大切に、子ども一人ひとりが自分の感情や意思をもち、やりたいことを自分で決められる。保育者自身もどうすればいいかを自らが考え、学び、動く。大人も子どもも主体性を大切にしながら日々を丁寧に積み重ねていく。

園目標…その動き、こころの中をのぞいてみよう「丁寧な子ども理解」

・日々絶えず成長し、変化していく子どもたちをじっくりと観察し、興味や好奇心は何か。行動の意味は何か。どんな遊びや人間関係が展開されているかを読み取ろうとする保育者になる。

・一緒に遊ぶ・見守るだけでは育たない、大人が教えない限り知り得ないことを子どもたちと一緒に経験し伝えていく。

・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を保育者一人ひとりがきちんと理解し、乳幼児期の毎日の保育の積み重ねがその姿につながっていくことを意識して子どもたちと関わる。子どもたちが生きる力の基礎を培えるよう、私たち保育者は資質・能力の3つの力を育める保育を実践していく。

〈Ⅰ〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子ども一人ひとりの姿を捉える
	実践予定内容	子どもの姿や、遊びを観察し、様々な角度から子どもの思い、興味関心を探る。職員間で共有し、一人ひとりの違う視点や読み取りを感じ、自分の保育を振り返る習慣を定着させる。
2	計画・ねらい	子どもの姿を捉えた保育計画の作成、実践、振り返りのPDCAサイクルの定着
	実践予定内容	一人ひとりの発達を捉え、保育計画に落とし込む。実践し、振り返りを行い、環境を改善しさらに次の計画につなげていくサイクルを定着させる。各職員で完結させるのではなく、職員間で共有、意見交換を行うことで、保育の質向上につなげる。
3	計画・ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を子どもの姿に重ねながら、読み解いていく。

実践予定内容	子どもの観察を行っていく中で、その姿や興味関心はどの姿につながっているか、保育者の関わりでその育ちがどのように伸びていくかを振り返りながら学ぶ。
--------	--

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	全職員が、保護者の気持ちに寄り添い信頼関係を築き、保護者の心に入り込んだ接遇を心がける。
	実践予定内容	保護者の知りたい情報や気持ちの良い対応を心がけ、安心して子どもを預けられるよう丁寧な対応をする。
2	計画・ねらい	自園の強み・特性を生かした園の様子や子どもの姿の記録と公開を行い、情報を発信する。
	実践予定内容	家庭と保育園の連携を密にして、保護者との信頼関係を築き子どもの発達や様子をタイムラインやドキュメンテーションなどを活用してわかりやすく伝えていく。
3	計画・ねらい	保護者がいつ来ても整理整頓されている気持ちの良い保育園にしていく。
	実践予定内容	保護者や訪問者がいつ来ても、すぐに保育者が対応し、視線を向けて万遍なく声をかける。園内外が常に整理整頓されており気持ちの良い保育園となるようにする。また日々の清掃や片付けなど職員の意識づけをしていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育、園開放などによって保育園と地域のつながりを持つ。
	実践予定内容	青空保育、地域育児相談、次世代育成支援（実習生、中高生、職場体験、ボランティアの受け入れ）
2	計画・ねらい	「ちきんえっぐ」の定期的な開催により保育園を知ってもらう。
	実践予定内容	寺親屋、自然食堂、自然学校、芸術学校を定期的に開催する
3	計画・ねらい	保育園が地域の資源としてサービスの提供をする
	実践予定内容	園開放による保育園と地域の共育て。園だより、ちきんえっぐだより、献立、食育だより、保健だよりなど子育て情報の提供や発信。子育て相談は随時行う。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもを観察する力を身に付ける
	実践予定内容	ただ子どもと一緒に遊んだり、見守ったりするのではなく、遊びに没頭する子どもを注意深く見つめ、子どもの興味関心や行動の意味、遊びや人間関係がどのように展開しているのかなどしっかりと観察する。
2	計画・ねらい	子どもの姿からつくる、子どもたちが選べる環境の設定
	実践予定内容	遊びの姿を振り返り、子どもたちが興味を持てる、チャレンジしながら育つことができる多様な環境を構築する。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食材や食の循環を知る
	実践予定内容	子どもたち自身が畑仕事（種まき・育てる・間引く・採る）や、食材加工（梅・ケチャップなど）の活動を実践する。
2	計画・ねらい	食べ残しを減らし、再利用できる仕組みを知る。
	実践予定内容	給食残渣を減らし、残渣から堆肥生産を行い有効活用できることを子どもたちと一緒に実践し、知っていく。

〈6〉子ども自らが選び取ることのできる環境構成（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	発達に応じた環境設定
	実践予定内容	それぞれの発達に応じた遊びを見極め、職員間で振り返り、構成する。
2	計画・ねらい	選び取れる環境をつくる
	実践予定内容	様々なものに触れる、使える経験を増やし、子ども自らが判断できるようにする。子どもの姿に応じてその都度見直し、再構成を繰り返していく。
3	計画・ねらい	保育者の関わりを振り返る
	実践予定内容	子どもの遊びに対しての、保育者の距離の取り方。大人の決めつけで子どもを捉えようとする視点。子どもが主体となり、尊重される保育者の関わりを徹底していく。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	10人	12人	12人	12人	62人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	9人	看護師	1人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	4人	補助	0人	調理	1人	事務	1人
	用務	1人	嘱託医	2人				

3. 運営方針

施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	保育運営について、行動計画の決定・共有、園内研修
給食運営会議	月1回	食育活動・喫食状況・アレルギー等の個別対応
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント分析、自園・他園の事故記録の検討や改善策の検討
ケース会議	月1回	要支援児についての個別計画、振り返りおよび省察

〈4〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	連絡及び経営visionとの接続
施設長勉強会	月1回	マネジメント・コンプライアンス・課題改善計画立案及び取組成果発表
食育会議	年4回	献立内容の改善、提案・給食提供マニュアル及び運用ルールの作成、見直し
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成、改善
主任会議	月1回	各園の課題改善アクションプランの進捗確認と共有、マネジメント研修
子育ての質を上げる会議	月1回	マネジメント・コンプライアンス・課題改善計画立案及び取組成果発表

〈5〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の衛生管理・衛生点検・安全管理や備品等の管理
安全対策係	避難訓練の実施や環境整備・安全な環境の整備
防火管理者	災害などに対して消防計画・避難訓練の立案・設備の管理
食品衛生責任者	食品の品質管理・衛生管理、調理室の衛生管理、食育会議の立案
畑係	年間農業計画の遂行、畑の管理

〈6〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り	園、保護者、地域が一緒になって祭りを計画・開催
朝霞市民祭り 彩夏祭	地域活動の一環として有志の保護者、園児の補助

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に少しずつ慣れ、特定の保育者に見守られながら情緒の安定を目指し、基本的な生活習慣の体得を図る。 ・一人ひとりの発達に適した環境を整え、的確に子どもたちを捉え子どもたちが自ら選択する保育を行う。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・活動量や活動範囲、成長に適した環境を整え、活動や食事、睡眠などに配慮していく。 ・他児や周囲への関心が高まり、探索活動が盛んに行えるような環境設定を考慮し、子どもたちがいきいきと遊びを楽しめるようにする。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの社会性、主体性、意欲を培うための環境が整備された中で満足感を得られる保育を行う。 ・子どもたちが自ら気づき、感じ、考えて行動することの楽しさを味わえるような環境や機会を保育者が仕掛けていく。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期で培ってきたことを自信に感じながら、自分よりも年下の友だちに対する思いやりや助け合いを持って関わられるようにしていく。 ・年少児が年長児へのあこがれや期待感を抱きながら意欲的に行動できるような環境設定や異年齢保育を行う。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼

保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・ 2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	丁寧な食事を提供し、落ち着いた空間で食を豊かなものにする。
	実践予定内容	子どもたちが食事に集中できる空間をつくり、保育者自身も子どもと一緒に食事を楽しみ、美味しさを共感できる時間にする。
2	計画・ねらい	食材や食の循環・環境への意識を身に付けていく。食を通してすべてのものへの感謝の気持ちを知る。
	実践予定内容	食材の下処理や準備、加工品などに関わる環境を作り、コンポストなどを活用して堆肥作りなどを行い環境への意識を育む。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い・うがい・歯磨き指導、性教育、自分の体の大切さを知る
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6～8月頃・・・手足口病・ヘルパンギーナ・プール熱 11～2月頃・・・感染性胃腸炎・インフルエンザ

発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・2名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在11名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月30日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	本日現在11名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月30日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	戸外活動では身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味関心を持つ。
	実践予定内容	1日2回の散歩では生き物や植物が身近にあり、命の大切さや不思議さを体感できる環境を整える。
2	計画・ねらい	自分から環境に関わり、自分で考え主体的に行動できる環境を整える。
	実践予定内容	異年齢保育の中で自分から関わる社会性を育むとともに、子どもの主体性を大切に、自分たちで解決できるような援助をしていく。子どもの発達に応じての必要なものを準備して自らの意思で使用できる環境をつくる。
3	計画・ねらい	室内環境においては、安全で衛生的な整理整頓された気持ちの良い環境を整える。
	実践予定内容	玄関や保育室などの安全点検や玩具などの整理整頓、衛生的で誰が見ても気持ちの良い玄関や室内環境を整える。



〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	玄関ベンチ	玄関	毎日

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	防災	危機管理マニュアルNo.3の災害対策に則り、消防計画、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの周知、自衛消防組織と安全対策係の設置、緊急地震速報運用を行う。
2	ケガ事故防止	危機管理マニュアルのケガ事故防止・安全点検と保全に則り、事故防止チェック及び設備点検チェックの実施、安全教育、SIDS防止策を行い、ケガ発生時には対応のフローチャートに従う。
3	防犯	危機管理マニュアルNo.3の不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行う。 不審者侵入時には対応フローチャートに従う。
4	光化学スモッグ	危機管理マニュアルNo.3の光化学スモッグ対策に則り、光化学スモッグの知識を身に付け、職員全員が自治体の「光化学スモッグ注意報発令メール配信システム」に登録し、注意報発令の把握を行う。 光化学スモッグ発生時には対応フローチャートに従う。

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■ 入社時オリエンテーション ■ 現場OJT研修 ■ 保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■ コンピテンシー研修 <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新人社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社員研修 (年1回) ■ 園内研修 (月1回以上) ■ 保育スキル研修 (エリア別) ■ リーダー養成研修 (9~2月) ■ 業務改善研修 (月1回) (= 保育の質を上げる会議) ■ 施設長勉強会 (月1回) ■ デンマークインターンシップ (年1回) ■ コンピテンシー自己採点 (月1回) ■ 人権チェック (4月・10月) ■ 外部研修 ■ 上級救命救急資格取得講習 <p>←避難訓練研修</p>

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉 今年度方針・テーマ

地域におけるボランティアの養成とともに、次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために実習生・研修生を積極的に受け入れる。

1	中学生の職業体験	積極的に受け入れ、安心して体験学習を行えるように配慮する。子どもに関わる仕事がどのような仕事なのか、興味関心を広げられるような関わりを持つ。
2	保育養成校の学生の 実習	積極的に受け入れ、安心して実習を行えるように配慮する。学生自身の気付きを大切に丁寧な振り返りを行い、保育や福祉の現場で活躍できる人材を育てる。
3	一般および学生の 各種ボランティア	積極的に受け入れ安心してボランティアなどを行えるように配慮する。また、保育や福祉の現場に興味関心を持ってもらう。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの人権	子どもの人権について
5月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解とは	子ども一人ひとりがそれぞれの育ちがあり、どんなところを日々観察し

			ていくのかを考える
6月28日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② リスクマネジメント	水遊びを始めるにあたりのリスク、事故事例などからリスクを読み取る
7月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察	子どもの姿を観察して共有する
8月23日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察	子どもの姿を観察して共有する
9月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察と保育者の関わり	子どもの姿に対して保育者がどのように読み取り、どのように関わったかを共有する
10月25日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修	子どもの人権、日頃の保育を振り返り、適切な関わりができていのかどうか考える
11月22日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察と保育者の関わり	子どもの姿に対して保育者がどのように読み取り、どのように関わったかを共有する
12月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの遊びと環境構成	子どもの遊びの観察から、どのような環境設定をするべきかを考える
1月31日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの遊びと環境構成	子どもの遊びの観察から、どのような環境設定をするべきかを考える
2月21日	18:00~21:00	① 第一回策定会議	2025年度の事業計画発表 園目標の決定
3月2日	9:00~18:00	① 第二回策定会議	2025年度の年間計画策定会議 畑研修

エリア研修予算内訳（朝霞、志木地区合同開催）「エリア学ぶさくらさくらんぼリズムの共通理解」

開催日	予算	予算の内訳		例) ●園で按分した自園負担額
4月~6月 で2回実施。 18:30 ~20:00	0円	講師代（交通費含む）	0円	0円 内容:講義と実技研修。体を動かしながら共通理解を深めより質の高いさくらさくらんぼリズムを身に付ける。その後、各園に下ろし、職員に伝えて行く。

				講師:古川みどりさん
合計	0円		0円	0円

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターソップ®	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域の様々な人、場所、関係機関などと連携を図りながら、地域に開かれた園として地域の子育て支援の向上に貢献していく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
------	----

青空保育（保育園主催）	月1回	公園名：北割公園にて
商店街ツアー	週1回	
世代間交流		・ 高齢者施設訪問 ・ 中高生の体験学習受け入れ、ボランティアの受け入れ
異年齢交流		・ 近隣保育園との交流
地域拠点活動		・ ちきんえっぐ開催・寺親屋・自然食堂・芸術学校 ・ 青空保育
銭湯でお風呂の日	月1回	〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・ 職員や年長児が小学校を訪問してお互いの情報を共有し、安心して就学できるようにする。
- ・ 小学校との交流活動(小学校見学・小学校公開授業見学・運動会見学等)を通して学校を知る機会を作る。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
9月頃	朝霞第七小学校	12名予定	学校見学（朝霞第七小校庭）	見学
11月頃	朝霞第五小学校	12名予定	学校見学、授業参観（朝霞第五小学校）	子ども間交流
1月頃	朝霞第七小学校	2名予定	授業参観（朝霞第七小教室）	職員間交流
2月頃	市内小学校	1名予定	園児引き継ぎ	職員間交流

- ・ 5歳児と小学校1年生と年間連携計画及び報告書・アプローチカリキュラム作成、実施
- ・ 小学校との交流活動(保育園行事の案内の送付、小学校見学、小学校公開授業)
- ・ 教職員の交流活動(幼保小連絡協議会への参加)
- ・ 小学校への接続（保育所児童要録送付、園児情報の申し送り、面談の依頼・実施、スタートカリキュラムの確認)
- ・ 園児台帳の作成

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

子どもの状況に応じた保育を行う観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための個別支援計画を作成する。

〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：5～6名予定)

計画・実施状況・結果の振り返りを行い、個別支援計画の赤入れなども行う。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

- ・進級引継ぎは書面を用いて子どもの様子を共有する。
- ・小学校への引継ぎは朝霞市児童要録、または各校担当教員との面談によって行う。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎月4週目(金) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(火) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：北割公園にて開催

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2023年6月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、職員

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3.3 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<p>どろんこ会ならではの日課、基本活動の定着</p> <p>子ども一人ひとりに寄り添った保育</p> <p>清潔で整った、気持ちの良い環境</p>
	振り返り	<p>日課や基本活動は、大人も子どもも一緒に取り組み、日々の生活に定着した。子どもへの関わりにおいては、全体を一括りにして俯瞰して見ているような視点も多く、一人ひとりを丁寧に観察し、理解していくことが来年度取り組む課題として挙げられる。</p> <p>園内の断捨離や整頓を早い段階で実施することができ、その状態を維持することができた。</p>

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	<p>子どもの観察を丁寧にいき、それに応じた環境設定を行う</p> <p>質の高い接遇や美観を提供し、選ばれる施設となる</p>
	重点施策	<p>子どもと子どもの遊びを観察し、保育者はどのように関わったらいいかを、多角的な視点で捉えられるようにしていく。子どもたちに応じた環境を設定し、遊びを選びとれる環境を設定していく。</p> <p>園を訪れた方が、美観、接遇対応ともに気持ち良さを感じ、保育園に対して信頼を抱いていただける施設となる。</p>
2025年度	目指す姿	<p>保育のアセスメントを日常的に行い、保育の質を高める。</p> <p>地域に保育園の取り組みを知っていただく</p>
	重点施策	<p>環境、保育者の関わりなど様々な面から保育を振り返り、日々保育を改善できるようにする。振り返りは職員間で共有し、園全体で保育の質をあげていく。</p> <p>園で行っている子育て事業を事業に知らせ、参加していただく。子育て支援のみならず、地域の保護者同士をつなぐ役割も担い、不安を抱える保護者を孤立させないようにする。</p>
2026年度	目指す姿	<p>チーム保育の定着</p> <p>地域に開かれた保育園となる</p>
	重点施策	<p>職員一人ひとりが子どもを一人の人間として尊重し、丁寧に受容的で応答的な保育を行う。そこを基盤としたうえで、保育者一人ひとりの様々な視点や考え方を園全体で共有し、子どもの姿を多角的に捉え、意識的に関わり成長につなげる。</p> <p>地域の保護者にとって園の存在が相談場所や仲間と会える場所になる。</p> <p>また子育て支援の活動に、地域の方の力を借りて一緒に支援する取り組み</p>

		みを行ったり、必要な地域の情報を発信したり、役割を果たしていく。
--	--	----------------------------------

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズkids北朝霞ルーム 施設長 坂井 まゆ美